

カナダ Peason College UWC ハウカ瑛美里さん

留学期間 R6.8～R8.8 (2 年間)

1 留学の成果

今年 5 月、私はピアソンカレッジでの 2 年間の生活を終えました。卒業までの数日間は、IB (国際バカロレア) の最終試験を終え、親しい友人たちとピアソンの美しい森を散歩したり、卒業証書を受け取ったり、ソーラン節を披露したりと、さまざまな行事や活動が続きました。その合間には、友人たちと 2 年間を振り返りながら涙を流し、感謝の手紙を書き、最後には、私にとって「かけがえのない居場所」と呼べる大切な人たちに別れを告げました。外から見ると非常に慌ただしい日々に見えるかもしれませんが、実際、私自身もそう感じていました。しかし、このように次々と出来事が起こり、一つひとつの瞬間を惜しむ間もなく過ごすことこそが、私にとってのピアソンでの 2 年間を象徴しているように思います。

この 2 年間、私は常に様々な活動や新しい挑戦に取り組んできました。多くの日々は、まるでアクセルを踏み続けているかのように感じました。時にはその忙しさに疲れることもありましたが、一つひとつの経験や学びを大切にしながら過ごしてきました。その積み重ねによって、学問だけでなく、物事への取り組み方、人との関わり方や自分自身の信念の理解を深めるなど、様々な面で成長することができました。

2 年目の 3 月には、APAC (アジア太平洋地域) のリーダーとして Regional Day の企画・運営に携わりました。2 人のリーダーの 1 人として、アジア太平洋地域のさまざまな国や文化を紹介し合うイベントを企画し、参加者一人ひとりの意見を取り入れながら、誰もが自分たちの文化が反映されていると感じられる場を目指しました。また、学校の事務局やカフェテリアのスタッフとの調整を重ねました。ここでは、異なる立場の人と協力し、1 つの企画を実現することの大切さを学びました。このほかにも、カヤックを新しい生徒に教えたり、陶芸に挑戦したり、DEI 委員会として生徒がキャンパス内の課題について話し合う場を設けたりと、多様な活動に取り組みました。学習面でも、最終試験に向けて基礎力を磨き、自分に合う学習方法の追求を通して、大学生活にも活かせる勉強法や思考力を身につけました。

しかし、こうした活動や学習以上に、カフェテリアや図書室、寮のリビングで交わした日々の何気ない会話やディスカッションが、私の人生観を形作る上で大きな意味を持ちました。私が特に楽しんでしたのは、キャンパスで出会った人たちに「もし〇〇だったら？」という質問をすることでした。同じ質問を複数の人に尋ねても全く同じ答えが返ってくることはなく、そこから人生や道徳、愛、正義などについての深い会話に発展することもありました。こうした会話を重ねる中で、育った環境、経験、知識などが人の考え方に大きく影響することを実感しました。カフェテリアのクッキーの好みについての些細な議論から、ジェンダーや人種、政治などの社会問題についての真剣な議論まで、会話のたびに新しい発見がありました。特に、自分とは異なる意見を理解しようとすることで、自分一人では得られない視点を学ぶことに大きな価値を感じました。

ピアソンでの生活を通して、世界にはさまざまな文化や言語、経験によって形作られた多様な考え方や価値観があり、それらが時には衝突することも必然的なことだと学びました。だから

こそ、異なる価値観を理解するために、自分自身も常に学び、新しい考えや視点に触れ続けることが大切だと考えるようになりました。これからも、新しいことに挑戦し、さまざまな人や文化に出会い、その違いを理解しようとする人でありたいと思います。

2 履修状況、課外活動等

(1) 履修科目

- ・ Japanese Language A (Standard Level)
- ・ English Language and Literature A (Standard Level)
- ・ Physics (Higher Level)
- ・ Global Politics (Higher Level)
- ・ History (Higher Level)
- ・ Math AA (Standard Level)

(2) 課外活動および受賞歴等

- ・ カヤックリーダー （初心者インストラクターの資格取得）
- ・ 陶芸
- ・ DEI（多様性、公平性、包括性）委員会代表（キャンパス内で起こる格差の課題などを取り上げ、改善に取り組む委員会）
- ・ APAC（アジア太平洋地域）グループリーダー（Regional Day といった文化交流のイベントの企画・運営を行なった）
- ・ VIRCS（ビクトリア移民難民センターでの子どもの学習や言語支援ボランティア）
- ・ Cool Aid（ビクトリア市内のホームレスシェルターでの食事時間のサポートや焼き菓子の寄付）

3 今後の活動予定

今年の9月から、カナダのブリテッシュ・コロンビア大学（UBC）で国際関係学を学びます。ピアソンカレッジでの多様性が溢れる環境の中で過ごした2年間で培った知識、大きく広がった視野、そして作り上げたコミュニティとの繋がりを大切に、新たな挑戦に挑んでいきたいです。留学での異なる価値観や文化の仲間との生活を通して深まった国際社会に対する関心を、より学問的な知識につなげていきたいと思っています。将来はアジア太平洋地域の国際取引や人権問題などに携わることのできる弁護士になることを目指しています。

4 ふるさと納税寄付者へのメッセージ

ピアソンカレッジでかけがえのない生活を送り、学習面での興味を深め、私にとってすごく大切な仲間と出会うことができたのは、奨学金の支援をしてくださった皆様のおかげです。感謝の気持ちでいっぱいです。これからも、この2年間の留学で得た経験を忘れずに多様なことに挑戦していきます。



寮の仲間とキャンプ



学校付近に住む、生徒から愛されているホストファミリーで 1 日を過ごした時にみんなで描いた作品



ニュージーランド・マオリ族の伝統料理法「ハング」を経験



日本と中国の伝統的な陶芸品・模様についてのワークショップを運営した時に参加者がデザインした作品



APEC (アジア太平洋地域) の Regional Day で盆踊りを披露





ルームメイトと一緒にアイススケート
右から出身地はカナダ、オーストラリア、タイ



卒業式の日に関友たちと共に
